



第10回しらかわ郷里マラソン
1,170人の参加者が心地よい汗を流す

10月1日、「第10回しらかわ郷里マラソン」が東風の台総合運動公園（東釜子）で開催され、県内外から1,170人が参加し、心地よい汗を流しました。本市出身の藤田敦史選手（富士通）がゲストとして招かれ、参加者と一緒に走ったほか、交流イベントにも参加しました。また、藤田選手は、「白河市のシンボルである小峰城の被害にショックを受けました。小峰城の一日も早い修復のため役立ててほしい」と小峰城城郭復元基金に10万円を寄附されました。



▲藤田選手も出場した10kmマラソン

災害時の情報発信に関する応援協定を締結
友好都市間のウェブサイトで災害情報を代行発信

友好都市の桑名市・行田市と「災害時の情報発信に関する応援」の協定を締結し、10月1日に運用を開始しました。これは、大震災の際に本市ホームページのアクセスが急増し、閲覧ができなかった状態を解消するためのもので、3市の間で被害の状況や避難所の情報等をインターネットで代行して発信します。これにより、本市に災害があった場合、桑名市・行田市のホームページで本市の災害状況の内容等を閲覧することができます。



▲災害に備え、ホームページの動作環境をチェックする職員

まちの話題やイベント
を皆さんに。

まち
Topics



NTTデータセンターが開所
災害時の継続したシステム運用が可能

10月3日、NTT東日本の福島データセンターが本市にある同社白河ビルに開所しました。このセンターは、顧客のデータや情報システムを管理する機能を持つもので、東北地方で2か所目、県内では初めてとなります。センターは、東日本大震災で被災したエリアのデータセンターとして、地域に根ざした被災地復興の一翼を担っていきたいという考えから、災害時の継続したシステム運用の課題を解消する目的で開所されました。建物は、震度6強クラスの地震にも耐えるよう構造を強化し、サーバー機器の効率的な冷却が可能なアイルキャッピングにより、最新のセキュリティを有し、情報資産を守ります。オペレーターは24時間対応で、自家発電による長時間の非常用電源も供給できます。

▲テープカットし開所を祝う関係者



▲説明を受ける鈴木市長



10月16日
▲第3回小野田うぶすな祭り/東多目的研修センター(東下野出島)

10月12日
▲平成23年度敬老会(町有) 敬愛: 中央体育館

10月10日
▲2011スポーツフェスティバル/中央体育館(北中川原)

10月19日
▲浅田次郎講演会/ホテルサンルート白河(新白河駅前)